

事業者向け 児童発達支援自己評価表 集計結果

記入年月日:令和 3年 4月 0日

チェック項目	はい	Partially	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
1 利用定員の指針調整等スペースとの関係で適切であるか	◎			利用定量が安全に過ごせるよう、室内に死角を作らないように配慮し、厳密に決めています。
2 職員の数配置は適切であるか	◎			
3 生活空間は、本人にわかりやすく構成化された環境になっているか。また、障がいや特性に応じ、事業者の設備等、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	◎			重心児童に対応したりアリアー化としており、療育スペースも障害者からゆめ安全な配慮しています。
4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもの活動に合わせた空間となっているか	◎			
5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	◎			勤務シフト上、全員参加のミーティングの機会が難しい状況ですが、管理者より毎日の業務事項、認識共有に努め通知をしています。
6 保護者等向け評価票により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	◎			
7 事業所向け自己評価票及び保護者向け評価票の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	◎			今期が初めての自己評価になりますが、こちらを甲で公開して参りますとともに、保護者様のご意見、ご指摘を伺うことで改善の機会を設けてさせていただきます。
8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			◎	
9 職員の資力の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	◎			
10 ニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	◎			保護者との面談の中で子どもの保護者のニーズを聞き取り、会議を開き個別支援計画を作成しています。
11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	◎			
12 児童発達支援計画には、児童発達支援がイテライの「児童発達支援の提供すべき支援的発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	◎			
13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	◎			
14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	◎			勤務シフト上、全員参加のミーティングの機会が難しい状況ですが、管理者がとりまとめ通知に努めています。
15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	◎			
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	◎			重心児童への支援になるため、個別活動が主になりますが、小さいグループの活動も取り組んでいます。
17 支援開始には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	◎			
18 支援終了時には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか	◎			
19 日々の実施に対して記録をとることを徹底し、記録の整理・変更につなげているか	◎			
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の進捗の必要性を確認しているか	◎			保護者様との定期的な面談機会により情報共有に心がけ、計画の作成・評価を随時見直ししています。
21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した職員も参加しているか	◎			
22 母子保護や子ども子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	◎			
23 「療育的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等も支援している場合」地域の保健、医療、障害福祉、教育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	◎			各児童の関係する機関との連携は怠らないようにしており、また併用のケースは対象の施設との情報共有にも努めています。
24 「療育的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等も支援している場合」子どもの主治医や協力医療機関と連携体制を強化しているか	◎			緊急時の連絡先としてのみならず、平常時よりの連携に努めています。
25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との支援内容等の情報共有と相互理解を深めているか	◎			全てとまではいきませんが、関係する施設との情報共有を行っています。
26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を深めているか	◎			
27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	◎			
28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	◎			新型コロナの影響もあり、今年度はほぼ自粛をしています。
29 「自立支援」協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	◎			新型コロナの影響もあり、今年度はほぼ自粛をしています。
30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を深めているか	◎			
31 保護者の協力力の向上を図る観点から、保護者に対して家庭支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	◎			
32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	◎			
33 児童発達支援がイテライの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を、そのほか支援内容の提供を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	◎			
34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	◎			日々の連絡帳、また各保護者との連絡網(SNS)を通じコミュニケーションに努めています。
35 父母の会の活動を支援したり、保護者等と関係する等により、保護者同士の連携を支援しているか	◎			新型コロナの影響もあり、今年度は保護者会を自粛しております。以外で共有できる形態を支援しています。
36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	◎			
37 定期的に連絡等を行い、活動報告や行事予定、連絡事項等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	◎			月例での会報形式の配布とともに、日々の活動はSNSを通じ保護者様々々への情報提供に努めています。
38 個人情報取扱に十分注意しているか	◎			
39 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	◎			
40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか	◎			新型コロナの影響もあり、今年度は行っていません。
41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	◎			
42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	◎			
43 事前に、被害や予防訓練、てんかん発作等のことなどの状況を把握しているか	◎			
44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか	◎			ほぼ全ての児童について、保護者様より医師の指示書をご提供いただいております。支援に活かしています。
45 ヒヤリ/ハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	◎			
46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	◎			
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記録しているか	◎			

○の児童発達支援自己評価票は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をいただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点等」について記入してください。